



☆ 今年の夏休みは40日間 ☆

いよいよ夏休みになります。この4カ月コロナ禍ではありましたが、予定した行事を行うことができ、子どもたちの笑顔もたくさん見る事ができました。また、大きな事故もなく安全に過ごせたこと感謝いたします。保護者の皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

今年の夏休みは、例年通りになりそうです。数えてみたら40日間でした。この長い夏休み「めあて」をもって過ごして欲しいです。そこで、せっかくの機会ですので次のこともお子さんと一緒に考えていただけたらと思います。

1 「食」は人を良くする

本校の給食の残量は、市内でもワースト〇位です。だからと言って、むりに食べさせるわけではありません。一人一人のお子さんを見ると食べ物の好き嫌が多いようです。特に「豆類」「野菜」「魚」の残量が多いです。食べず嫌いもあり、見ただけで食べようとしないお子さんもいます。しっかりと栄養のある給食を食べないと、午後の授業に集中することができません。また、成長過程で必要とされる栄養を十分補ってくれています。担任、給食センターの栄養士などによる食の指導を行い、バランスよく、上手に食べることの大切さを教えています。

夏は野菜がたくさんとれ、太陽のエネルギーをたくさん含んでいます。2年生の児童は、生活科の時間に育てた野菜を収穫し、家庭で食する喜びを感じているようです。草取りや水やりを一生懸命行っていました。夏休み、家で食事をする回数も増えます。この機会に、食についてお子さんと考えてみていただけたらありがたいです。

食の好き嫌いは、人の好き嫌いにつながるとも言われます。どんなことも受け入れ、チャレンジする心を食を通して学んでいっていただければと思います。



2 SDGsを考えよう

テレビ放送や企業広告で「SDGs」という言葉を最近よく耳にします。

Sustainable (サステイナブル) Development (ディベロップメント)

Goals (ゴールズ) の略で、日本語に訳すと「持続可能な開発目標」となります。今世界に課せられている課題を解決するための17の目標があります。小学生でもできることがあります。例えば、電気を節約するために、エアコンのフィルターや扇風機の掃除をしたり、早く寝て夜間電気を節約したりすることができます。そのほか電気の節約のために、何ができるか考えてみるとよいかもしれません。また、食品ロスも大きな問題となっています。子どもたちにも話をしたことがあります。日本は、1日に人口1人当たりおにぎり1個分の食品を捨てているそうです。世界では、それで救われる子どもたちもいます。夏休み中にできることを1つ決めて実行できるといいですね。

～健康で安全な夏休みを過ごしてください～

♡いのちを守る行動をとるように声かけをおねがいします♡